

幸地川せせらぎ広場（名護中央公園）

ペンネーム：なごはく

【場所の説明】

名護市街地を流れる幸地川は約 3km の小さな都市河川です。川沿いには、オリオンビール工場や名護のシンボルとも言える国指定天然記念物の「ひんぷんガジュマル」があり、シーズンには、桜を見にくる人々にぎわいます。そんな幸地川に沿って名護城へむかう道を進むと、右手に名護中央公園せせらぎ広場が見えてきます。名護岳のふもとにあり、幸地川のせせらぎが聞こえる自然豊かな親水公園です。夏から秋にかけては、川でテナガエビやモクズガニなどを探したり、水遊びをしたりする子どもたちをよく見かけます。真上を通る県道 18 号の高架橋が日陰を作り、せせらぎの音をききながら涼むには絶好の場所となっています。



せせらぎ広場



広場脇を流れる幸地川で遊ぶ子どもたち

【よみがえった川、幸地川】

今の幸地川は、都市河川にも関わらず水はきれいで、多くの生きものが見られる自然豊かな川ですが、沖縄の本土復帰後である 1970～1990 年代は、「どぶ川」と呼ばれるほど汚れていたといいます。また、上流から取水していたため、水が枯れている部分もありました。今のように川に降りられる場所はほとんどなく、切り立ったコンクリート護岸が続く殺風景な川でした。

そんな状況に心を痛めた地域の方々が立ち上がり、行政などと協力して、かつての清流をよみがえらせるための様々な活動をしてきました。川の清掃や沿道の美化活動、親水性や環境に配慮した河川改修工事などです。せせらぎ広場にある人工の滝は、水量を確保するために下水を高度処理してきれいにし、川へ流すために作られたものです。こうした活動を経て、今の幸地川の豊かな自然があるのです。

【生きもの探しのコツ】

川岸に近づき、上からそっと水の中をのぞいてみましょう。静かにしていると、川底にいるボウズハゼやヨシノボリの仲間、泳ぎ回るユゴイなどの魚を見ることができます。川に入って生きものを探すときは、川岸に生えている草陰を網でそっとすくってみましょう。テナガエビやヌマエビのなかま、テンジクカワアナゴなどの魚、アカナガイトンボのヤゴなどが取れるかもしれません。



草かげは生きものたちの隠れ場所



オオクチユゴイ（沖縄名ミキユー）



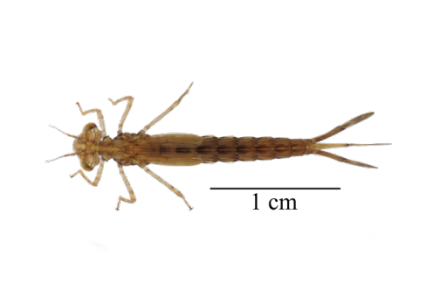
モクズガニ（沖縄名ウリガイなど）



コンジテンナガエビ
（沖縄名タナガー）



テンジクカワアナゴ
（沖縄名イーブー）



アカナガイトトンボのヤゴ

公園には田んぼもあり、そのような場所を好むトンボのヤゴや、バッタなどがたくさん見られます。またこうした小さな生きものを食べるクモや、カエル、カワセミなども見られます。渡りの季節になると、サギ類やサシバなどの渡り鳥もよく見かけます。田んぼでは稲を作っていますので、生きもの観察は、田んぼの周りで行い、中には入らないようにしましょう。生きものを観察するには、夜のせせらぎ広場もお勧めです。春から秋にかけて、カエルたちの合唱が響き渡ります。広場の奥の森の方へ行くと、木々のすき間を舞うホタルたちの光を見かけることもあるでしょう。



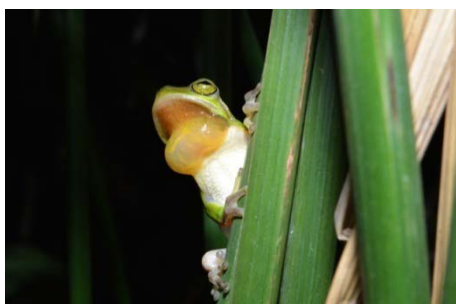
せせらぎ広場の田んぼ



カワセミ（留鳥）
（沖縄名カーラカンジュー）



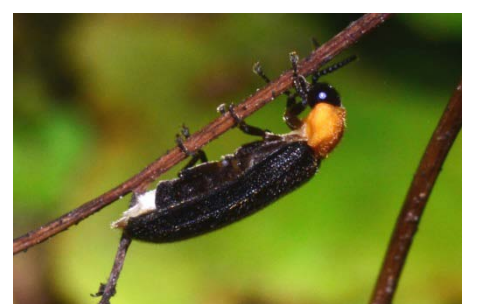
ダイサギ（冬鳥）
（沖縄名サージャー）



ハロウエルアマガエル



クロイワボタルの光



オキナワスジボタル

ところで、生きものを探すときは、そっと近づくのが大事です。騒ぐと、生きものはすぐにかくれてしまいます。水遊びをするときは、川の中の生きもの探しはあきらめた方がいいでしょう。また、近くで生きもの観察をしている人がいるときは、騒がないようにしてあげるぐらいの気遣いがあると素敵です。川の自然はみんなで楽しむものです。誰かが欲張ってたくさん生きものを捕まえると、幸地川のような小さな川では生きものがすぐにいなくなってしまう。生きものを捕まえるときは、取りすぎないようにし、観察が終わったらなるべく元いた場所に返してあげましょう。生きものを探すときは、安全には十分注意してください。

【川の自然を未来へ残すために】

幸地川の景観の良さは地域の人々の努力の賜物です。川の清掃活動は今も地域の人々の手によって続けられています。自然の中で遊ばせてもらったら、その自然に感謝して、落ちているゴミの一つでも拾って持ち帰ると気分が良くなります。もちろん、自分の持ってきたゴミを持ち帰るのは、最低限のルールです。

また、せせらぎ公園の人工池には、誰が放したのかもわからない外来生物のティラピアやグッピーがいますが、このような生きものが、隣を流れている幸地川へ放されると、本来の自然のバランスが壊れ、豊かな生物相が失われてしまう可能性があります。みんなのものである公園の人工池に他から持ってきた生きものを放すのは、自然を壊すだけでなく、自己満足の身勝手な行いですので絶対にしないようにしましょう。また、人工池から取った生きものを川へ放すのもやめましょう。

【周辺情報】

所在地：名護市名護（名護中央公園内）

駐車場・トイレ：有

